

新 総合計画の策定の考え方

令和5年 11月9日

企画部 経営戦略課

本日の内容

1. 柏市の総合計画について
2. 第五次総合計画の振り返り
3. 新 総合計画の考え方

本日の内容

- 1. 柏市の総合計画について**
2. 第五次総合計画の振り返り
3. 新 総合計画の考え方

総合計画とは

● 法的根拠

- H23年の地方自治法改正により、総合計画の策定は **法的な策定義務** がなくなり、**自治体の独自の判断** となった
 - 柏市ではH26年度に **柏市総合計画策定条例** を制定
本条例に基づき、H27年度に**柏市第五次総合計画**を策定
 - 条例第6条により、**基本構想** の策定又は変更する際には、**議会の議決** を要する

審議する会議体

● 法的根拠

- 総合計画の策定又は変更について，調査及び審議並びに答申する
 - ↳ **総合計画審議会** を設置（条例第4条）
- 総合計画を策定，又は変更しようとするとき
 - ↳ **総合計画審議会** に諮問（条例第5条）

● 審議会の目的

- 総合計画は，新しい時代や社会におけるまちづくりの指針として策定するため，市内各界や関係者等の参画を得て，計画内容の調査及び審議をおこなう

柏市の総合計画

● 総合計画とは？

総合計画

本市のまちづくりの指針・ビジョン
基本構想と基本計画で構成

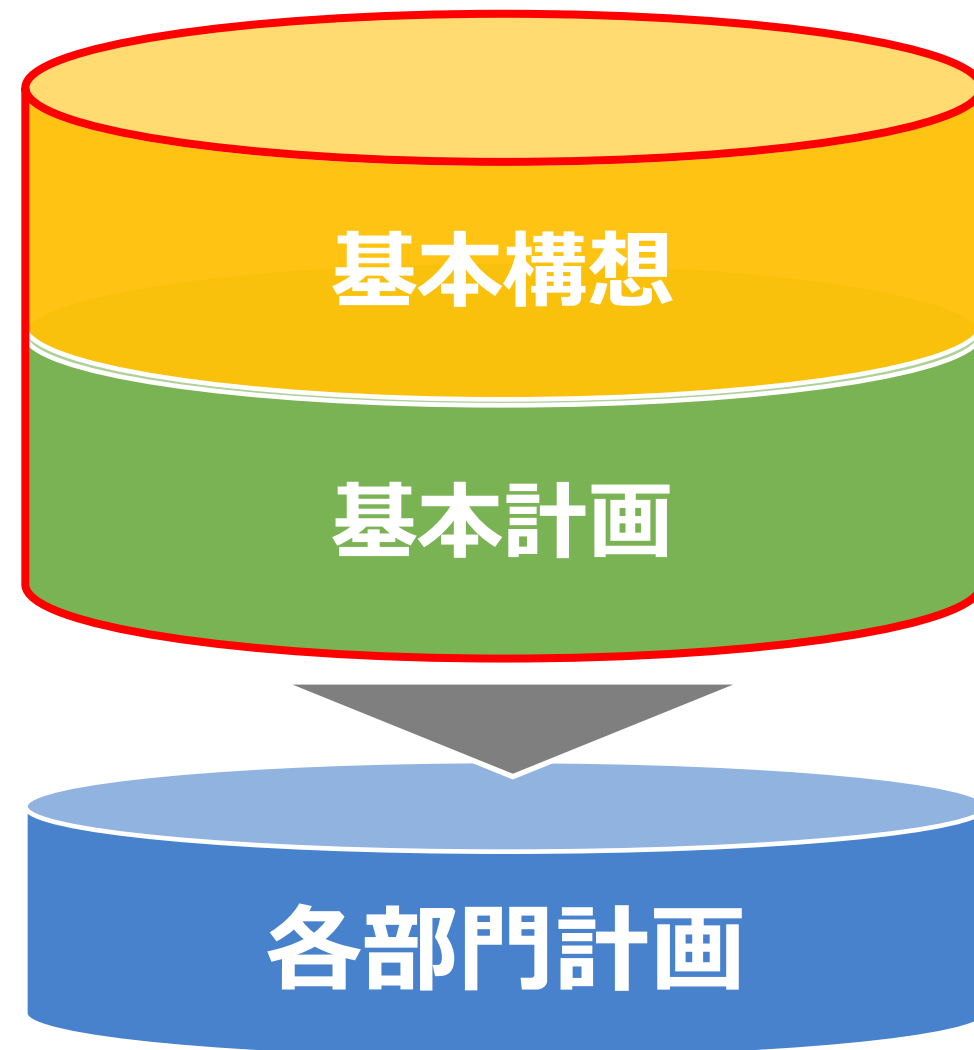
→ 基本構想

計画期間・将来人口推計・財政構造，土地
利用構想・将来都市像及び重点目標で構成

→ 基本計画

基本構想を踏まえた施策の方向性
政策分野で構成

総合計画



本日の内容

1. 柏市の総合計画について
- 2. 第五次総合計画の振り返り**
3. 新 総合計画の考え方

第五次総合計画の策定背景

● 人口動態

人口は当面は増加傾向，ただし，2025年をピークに減少局面
特に生産年齢人口の減少と，後期高齢者人口が増加

- 個人からの市税収入の割合の高い**柏市は影響大**

● 都市機能

公共施設や都市インフラ（道路等）の**老朽化による更新時期**
柏市の経済を牽引してきた**柏駅前の魅力・吸引力の低下**

- 「未来の柏」を想定した**計画的なまちづくり**が必要

第五次総合計画の概要

将来都市像

未来へつづく先進住環境都市・柏

重点課題

- ①少子高齢化 ②地域を支える力の低下
- ③都市の魅力・吸引力の低下 ④地域特性の違い

まちづくりの基本的な目標

- ①充実した教育が実感でき，子どもを安心して産み育てられるまち
- ②健康寿命を延ばし，いつまでもいきいきと暮らせるまち
- ③地域の魅力や特性を活かし，人が集う活力あふれるまち

計画期間

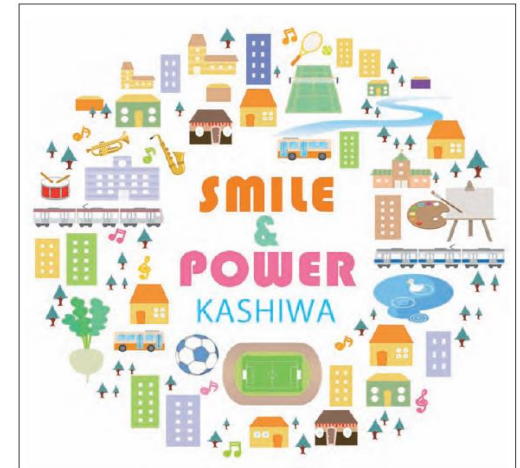
2016年（H28）～2025年（R7）

<前期:2016年～2020年 後期:2021年～2025年>

未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

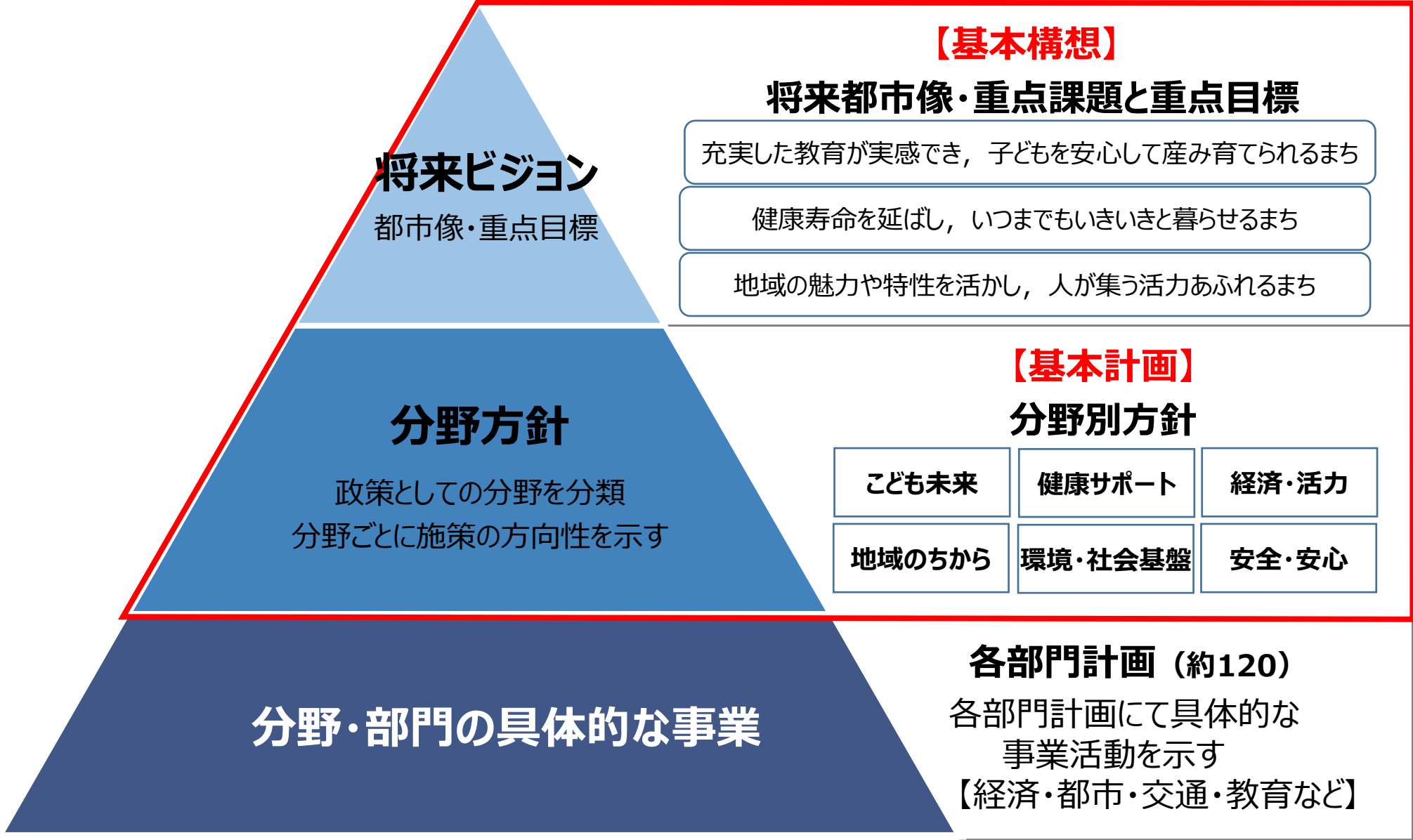
柏市第五次総合計画

基本構想／平成28年度～平成37年度
前期基本計画／平成28年度～平成32年度



第五次総合計画の体系

第五次総合計画の構成



後期基本計画（経営戦略方針）の特徴

● コロナ禍の対応

不確実性が高まる社会情勢において、基本構想に掲げた将来都市像や重点目標の達成を基軸としつつ、時勢に応じた機動的かつ効果的な手段（政策）を検討・実行するための思考や視点を示す計画として策定。

施策体系を固定化せず、目指す状態と取り組む方向性を示す

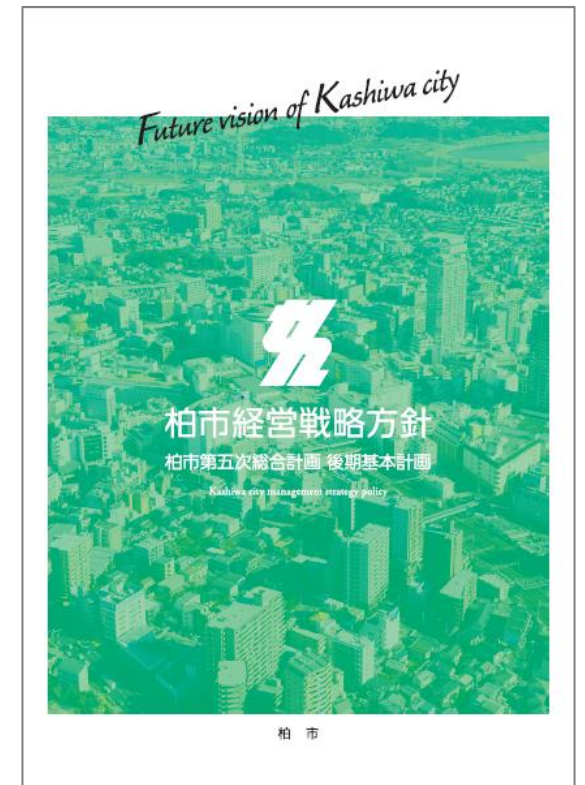
柏市経営戦略方針

経営戦略方針の構成

第1章
経営視点

第2章
分野別方針

第3章
計画の実効性



第五次総合計画の概要

分野	対応方針	優先取組
こども 未来	子育て環境	子どもと子育てを支える環境づくり
		質の高い幼児教育・保育の推進
	子育て支援	子ども家庭相談・支援体制づくり
		経済的な支援を受けやすい環境づくり
		妊産婦や乳幼児の切れ目ない支援
	学校教育	I C T利活用の促進
		分かる授業の推進
	教育環境	地域と関わり幅広い体験等ができる場の実現
		学校施設の適時適切な施設整備
		1人ひとりが生き生きと学校に通える支援体制づくり
		安全・安心でおいしい給食の提供
		個人の状況に関わらず安心して学べる環境づくり
		学校内外の連携による子どもの支援

第五次総合計画の概要

分野	対応方針	優先取組
健康・サポート	健康増進	関係部局と連携した健康づくり・介護予防等の推進
		特定健康診査習慣化のための取組
		運動習慣の定着及び身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり
	医療・介護	在宅医療・介護職種連携の強化
		医療・介護サービス等の基盤整備
	包括的支援	重層的支援体制整備事業
経済・活力	街の魅力・活力	広域的拠点の確立
		手賀沼の自然を活かした交流促進
	産業支援	魅力ある産業支援（商工振興）
		魅力ある産業支援（農業・市場活性化）

第五次総合計画の概要

分野	対応方針	優先取組
地域の ちから	地域活動	多世代が多様な形で地域活動に参加するための環境整備
		市民活動の更なる促進
	共生社会	性の多様性などを尊重する意識づくり
	生涯学習	地域課題解決へのアプローチ
環境・ 社会基盤	環境共生	脱炭素社会の実現に向けた取り組み
		1 市 2 制度の統合
		3 工場体制の合理化
	都市空間	快適な都市空間や住環境の実現
	道路・ 河川排水	暮らしを支えるインフラ構築・強化（交通）
暮らしを支えるインフラ構築・強化（治水）		

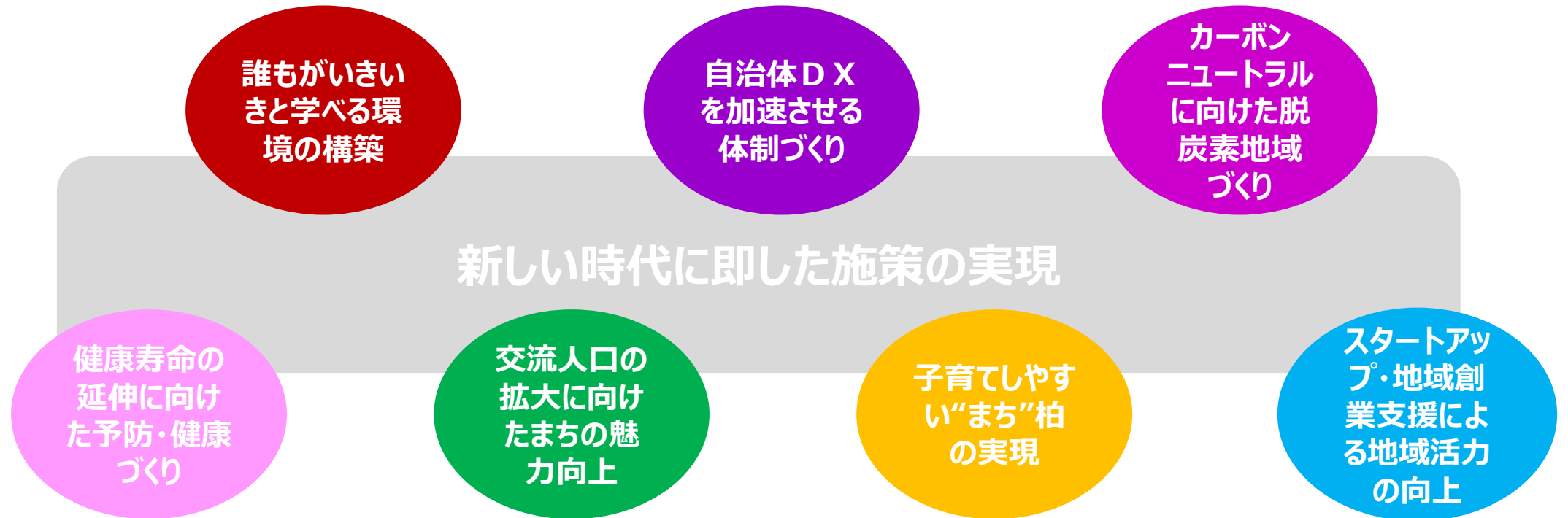
第五次総合計画の概要（R5年度）

分野	対応方針	優先取組
安全・ 安心	防災	災害に備えた自助・共助・公助による対策の推進
	消防・救急	業務継続のための施設整備
		緊急需要対策
	防犯・消費 生活	防犯力の強化
		高齢者を対象とした消費者トラブル未然防止の知識と意識の共有
		若年者を対象とした消費者トラブル未然防止の知識と意識の共有
	公衆衛生 (新型コロナ)	医療衛生対策
		感染拡大防止対策

令和5年度の施策の基本方針

● 令和5年度における行財政運営の方向性

新型コロナウイルス対策や物価高騰対策など市民の命と暮らしを守る取り組みを継続しながら、アフターコロナを見据え、新たな時代に即した政策の実現に向け、特定の分野・事業に予算を重点的に配分



まちづくり推進のための調査

● 調査目的

柏市第五次総合計画の推進にあたり、まちづくりの進捗を定性的に評価するための基礎資料とするため、市の施策や取組による市民の考え方や行動への影響等について調査。（隔年で実施）

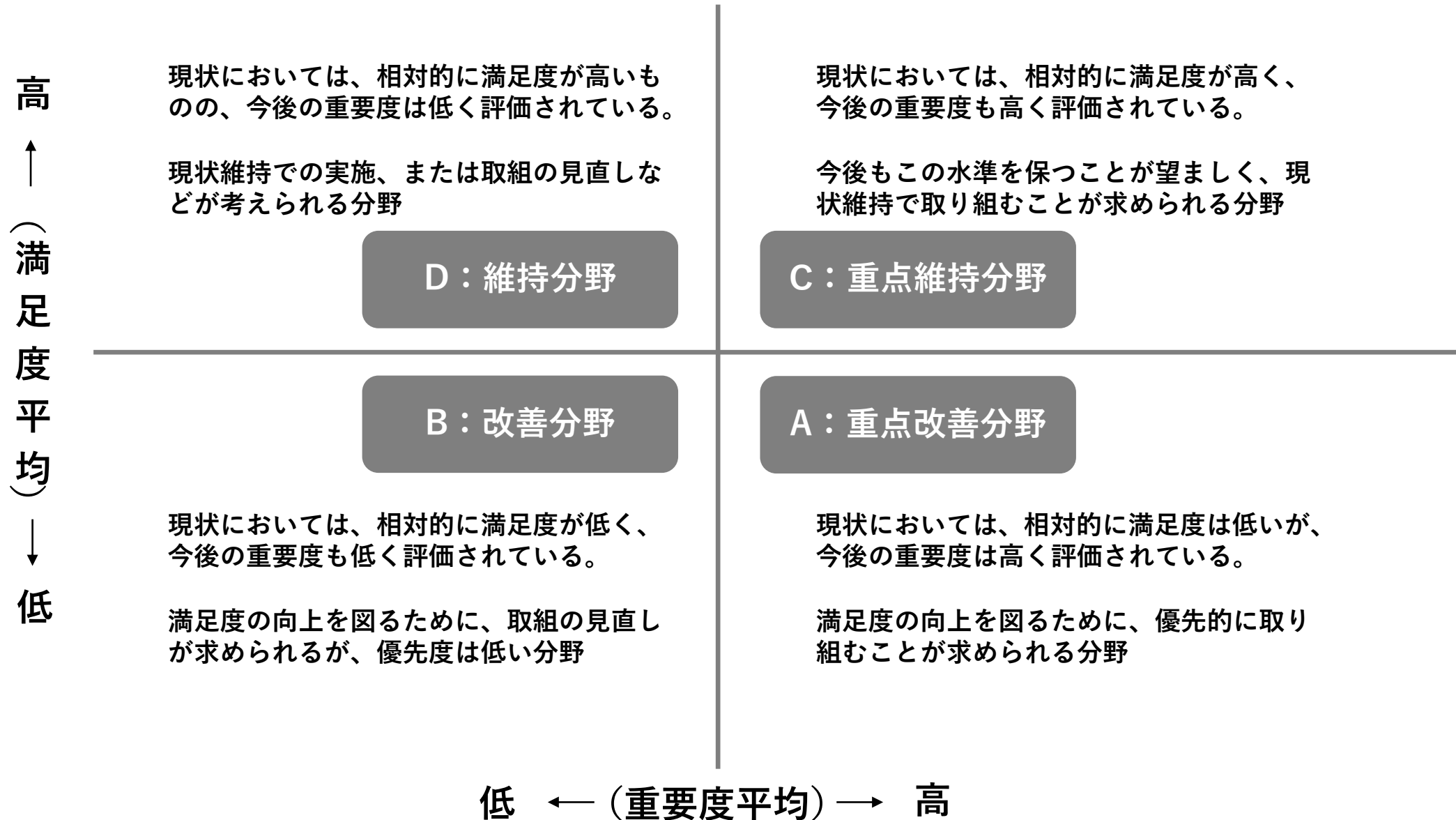
● 主な調査項目

調査項目	内容
魅力的な街のイメージ (Q1～Q2)	柏市のイメージ及び魅力的に感じる街のイメージとの差異から柏市に不足するイメージを検討する
柏市の取組の満足度 (Q3～Q5)	柏市が実施する各種取組内容の満足度及び柏市政全体の満足度から今後の市政運営において改善を要する項目を検討する
第五次総合計画の進捗管理 (Q6～Q23)	第五次総合計画の目指す方向性、市民の行動変容がどの程度進んでいるかを確認する

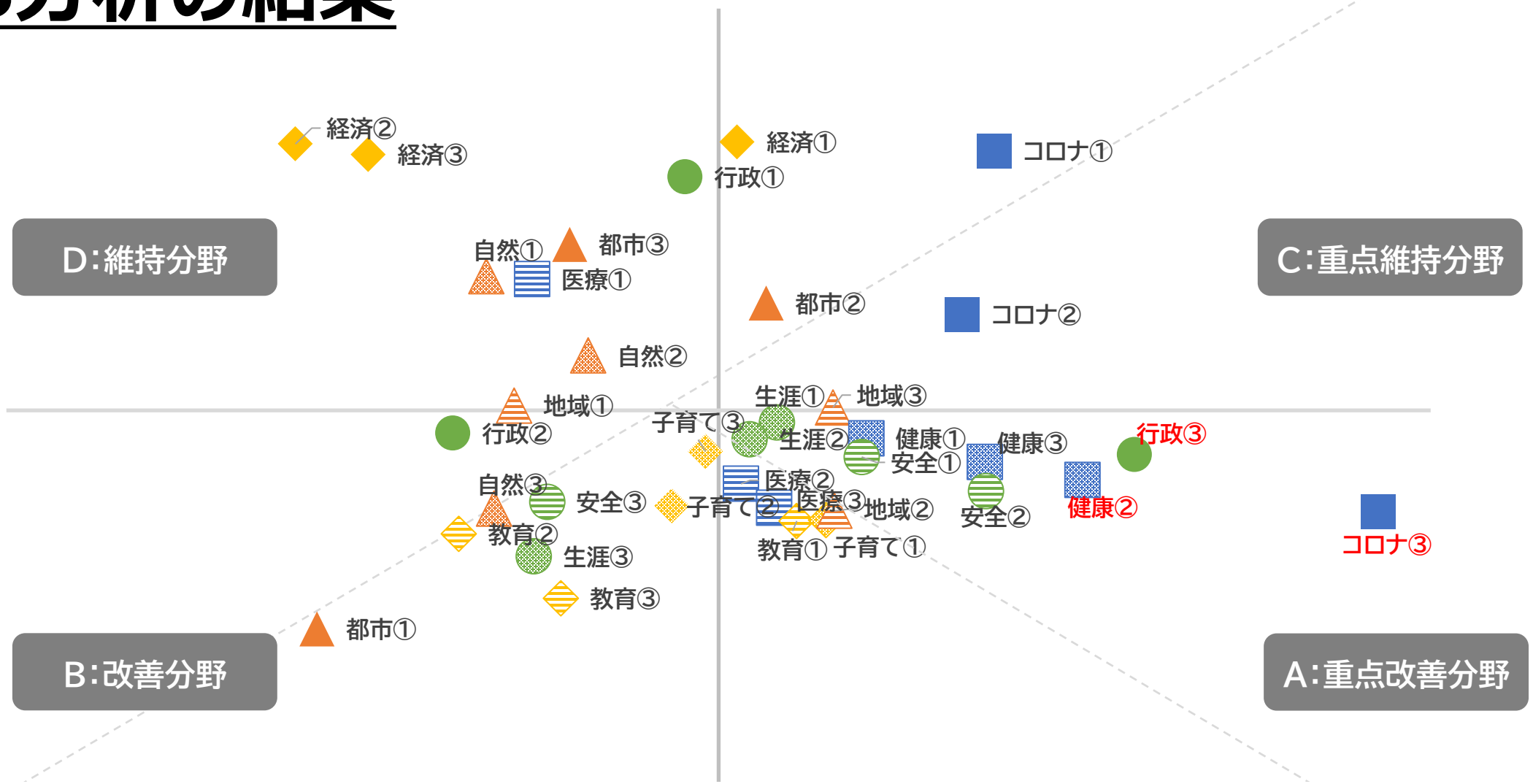
令和4年度
柏市まちづくり推進のための調査
結果報告書

令和5年6月
柏市

柏市の取組に関する満足度（CS分析）



CS分析の結果



改善度が高い項目 = **コロナ③, 健康②, 行政③**となっており, これら項目は【**重点改善分野**】
 改善度が低い項目 = **経済②, 経済③, 自然①**であり, これら項目は【**維持分野**】

行政①	窓口や電話での職員の対応	経済①	柏駅周辺の賑わい
行政②	インターネットを利用した市役所への申請や届け出	経済②	柏の葉エリアの先進的なまちづくりに関する魅力発信
行政③	市の現状や各種計画の情報発信	経済③	手賀沼に余暇・リフレッシュできる環境がある
都市①	空き家対策または空き家活用の取組	健康①	健康づくりのための情報発信
都市②	市内移動がしやすい交通網（公共交通・道路）の整備	健康②	高齢者が元気に暮らすためのまちづくり
都市③	過ごしやすい公園の整備	健康③	フレイル予防・介護予防への取組
自然①	動植物が身近に感じられる自然環境の保全	医療①	がん検診を始めとした各種健（検）診の受けやすさ
自然②	リデュース（ゴミの削減）・リユース・リサイクルを促す取組	医療②	介護サービスの提供
自然③	CO ₂ 削減のための取組	医療③	病気や障害のある人への相談支援体制
安全①	公共施設の自然災害への備え	教育①	児童・生徒の学力向上への取組
安全②	市民と行政の協働による防災体制の構築	教育②	ICT（ITを活用したコミュニケーション・情報伝達）を活用した指導
安全③	新たな消費者被害の防止に向けた啓発	教育③	いじめ防止に向けた取組
地域①	自治会・町会の地域コミュニティにおける交流	子育て①	妊娠から子育てまでの相談・支援体制
地域②	市と市民団体との協働	子育て②	子育て仲間や地域社会との繋がりがある
地域③	地域イベントの盛り上がり	子育て③	保育園など子育て関連施設の充実
生涯①	人と人々が繋がれる場がある	コロナ①	円滑なワクチン接種の対応
生涯②	市民が自ら集い、学べる環境がある	コロナ②	柏市に問い合わせをした際の案内
生涯③	自らが学んだ成果を活かせる場がある	コロナ③	感染した際に不安なく過ごせる療養環境の確保

本日の内容

1. 柏市の総合計画について
2. 第五次総合計画の振り返り
3. **新 総合計画の考え方**

第五次総合計画の特徴

● 前期基本計画

まちづくりの継続性を重視した結果、各分野で総花的な内容
“やる”ことに主眼を置いた **戦術的総合計画**

● 後期基本計画（経営戦略方針）

機動的な政策実行・市政運営を目指して、戦術を固定化しない内容
進むべき“方向性”を示す **方針的総合計画**

まちづくりとしての **連続性・機動性を重視** した総合計画

まちづくりにおける価値観

● これまでの社会

人口の増加や経済が成長を続け、連続性のある社会

まちづくりは、中長期にわたり取り組む ⇨ **継続性**が重要

● コロナ禍の社会

新型コロナにより、連続性が途切れ、不確実性が高まった社会

まちづくりは、情勢の変化に対応可能 ⇨ **機動性**が重要

● これからの社会

人口減少や経済も縮小し、価値観も変容していく社会

まちづくりは、新しい付加価値や差別化 ⇨ **創造性**が重要

これからのまちづくりの前提

● これまでの柏市

都心への交通や生活・住居環境の利便性による人口増

↳ ベッドタウン型郊外都市として成長

● 現在，直面する課題

少子高齢化の加速 ↳ **生産年齢人口の減少**と**社会保障費の増加**

公共施設の老朽化対策 ↳ 更新施設の増加による**財政負担の増**



ベッドタウン型都市では持続的な成長には限界

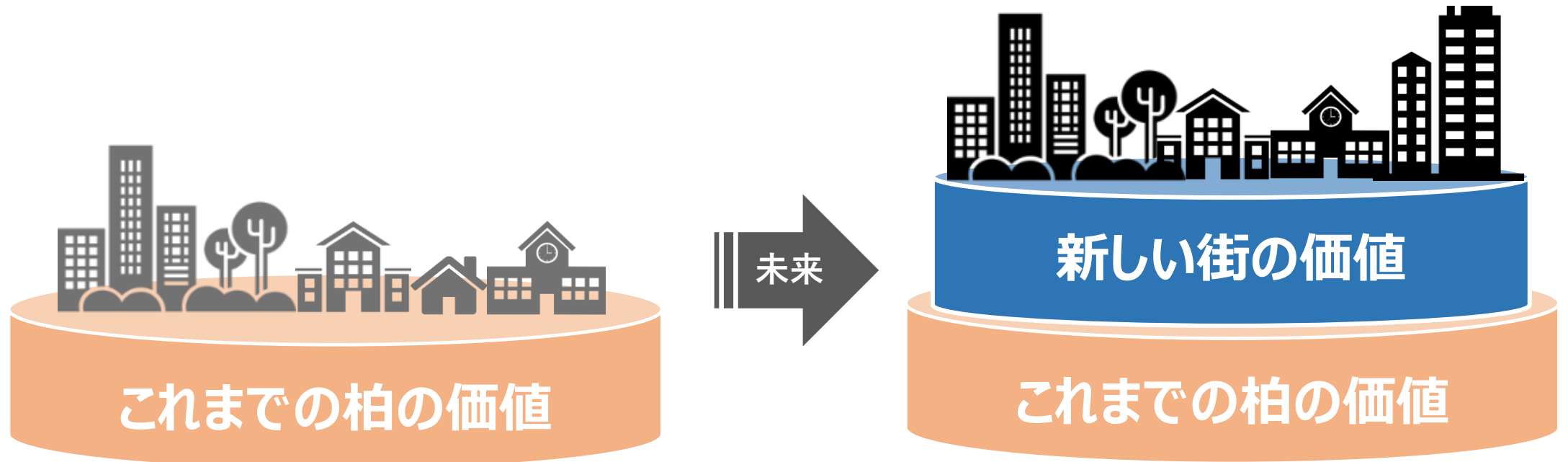
他にも…**防災・減災対策** **脱炭素** **自治体DX**

新総合計画の策定にあたって

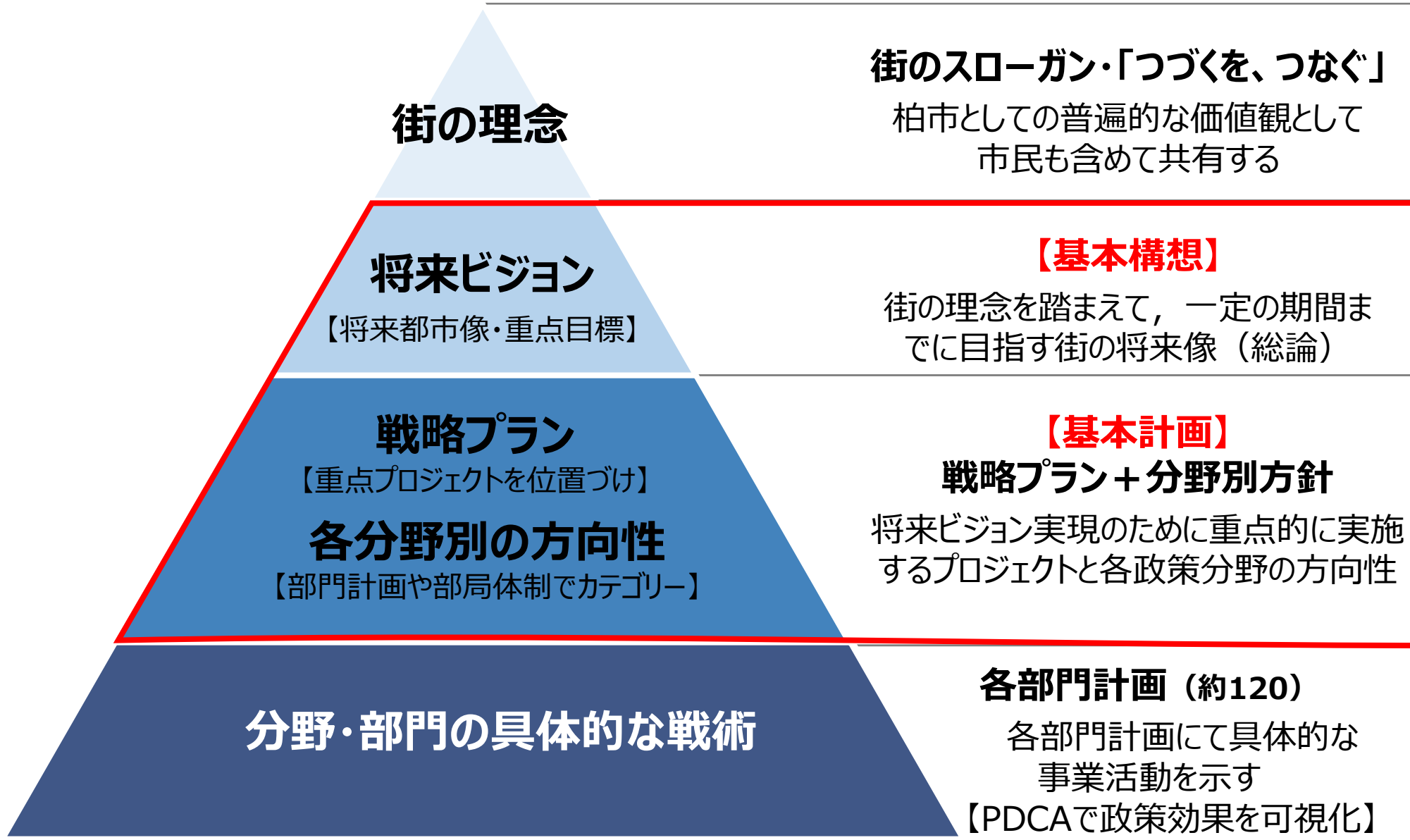
● 基本的な考え方

未来を見据えて、これからの社会や日本を先導する街を目指す
今も未来も暮らしやすさを実感でき、ウェルビーイングを届ける街を目指す

これら新しい街の価値を創造するための**未来戦略**



新 総合計画の構成

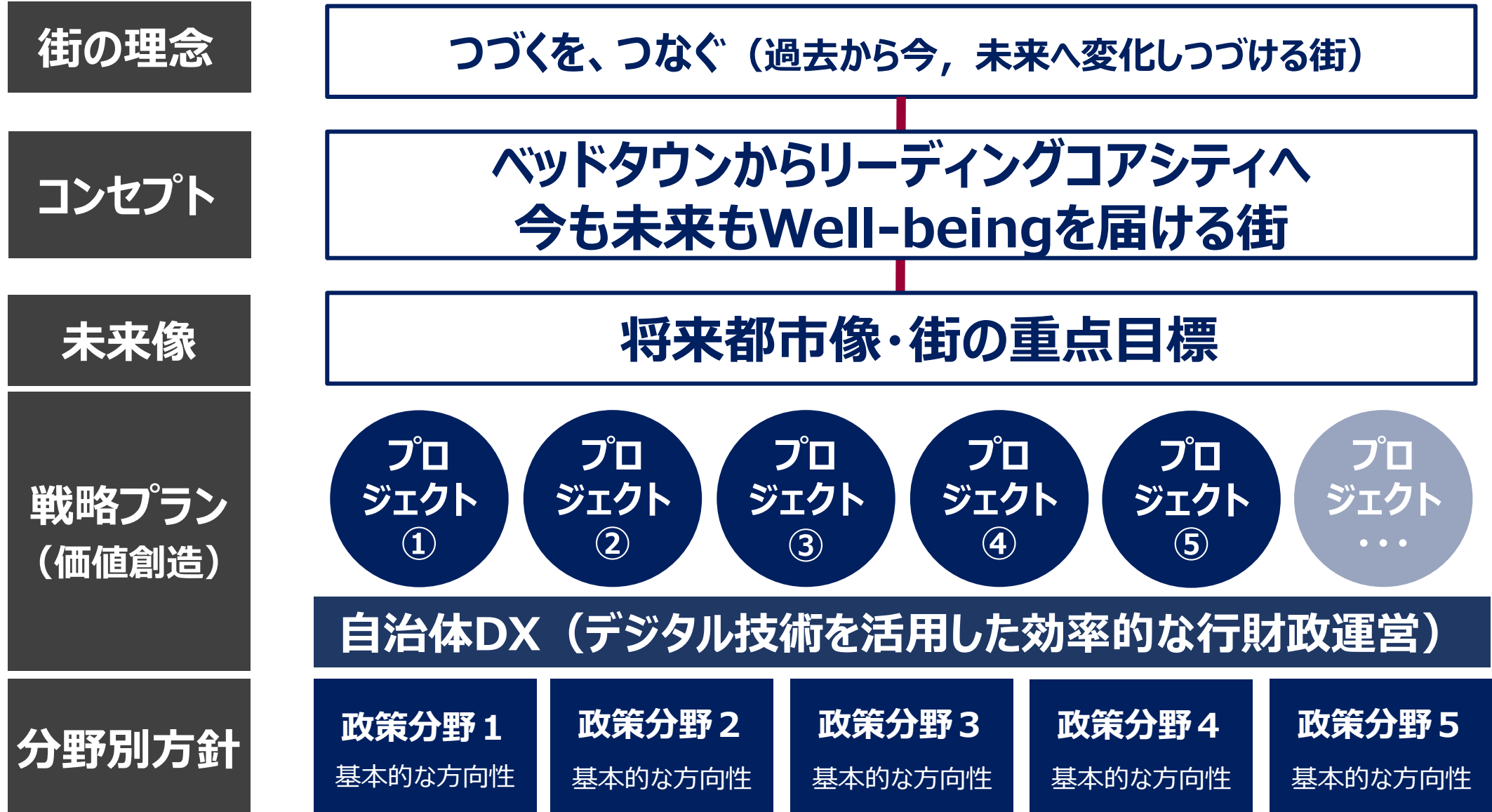


新総合計画の構成

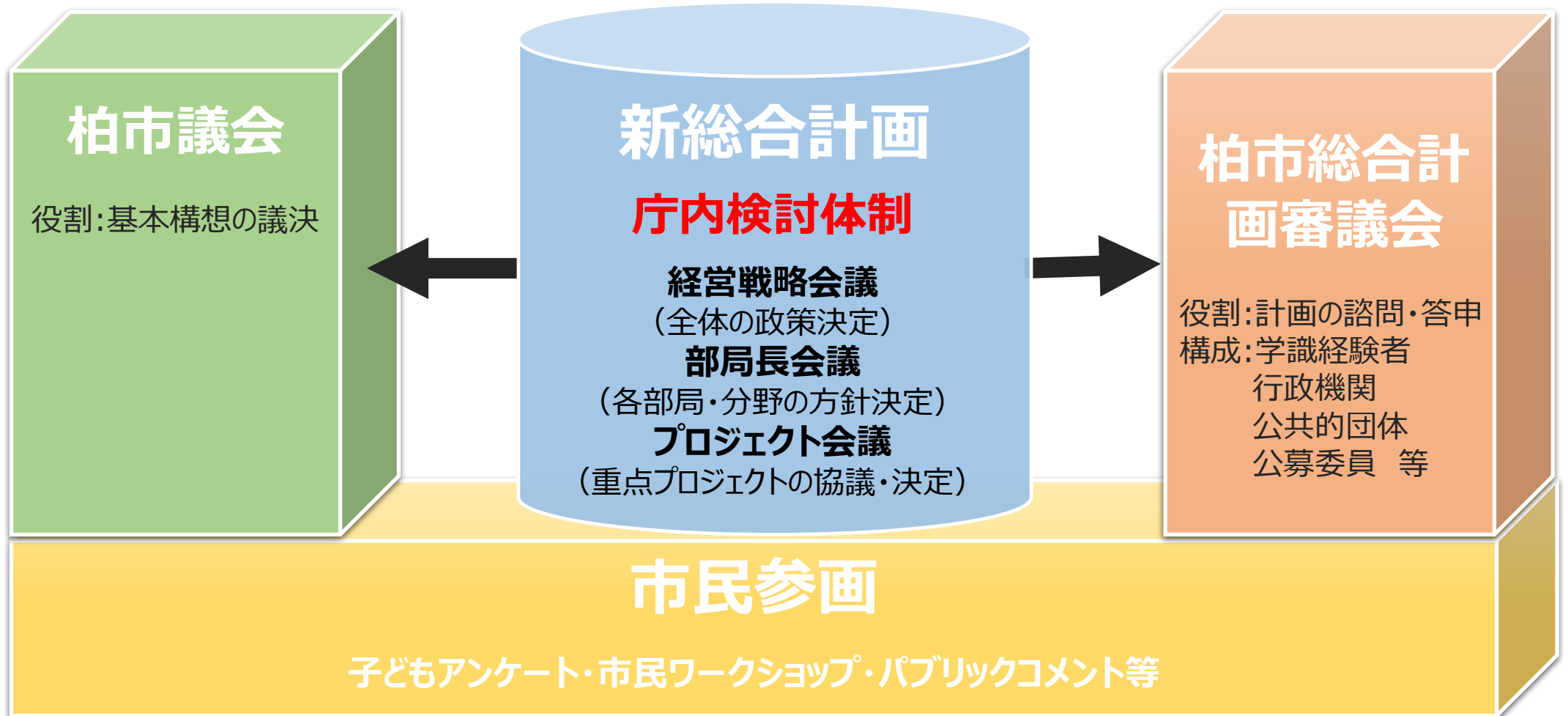
戦略プランの基本的な考え方

必要要件	補足
<p>1 個別最適な視点でなく、 全体最適な視点の政策</p>	<p>重点プロジェクトは、特定の事象や分野の成果にだけ寄与するのではなく、市全体として分野横断的な成果に寄与する政策を実行する</p>
<p>2 既定の価値観に捉われない 新たな機軸となる政策</p>	<p>既存の価値観や政策に捉われず、新しい街の価値創造に向けて、これまで取り組んでこなかった領域にもチャレンジする政策を実行する</p>
<p>3 今だけでなく、将来を見据えた、 未来志向の政策</p>	<p>現在顕在化している社会課題だけでなく、潜在的な課題を早期に捉えて、将来的に表面化する課題を未然に防止する政策を実行する</p>

新総合計画・戦略プランの体系イメージ



新 総合計画の策定体制



新 総合計画の策定スケジュール

